

◆第6週(2月7日(月)～2月13日(日))

先週は土曜日の夜に福岡空港から羽田に戻る。今週は月曜日から品川から新幹線で京都・大阪に向かう。東京には日曜日だけの滞在だ。

溜まっていた新聞数紙の3日分ほどを熟読しながら、品川エキュートの駅弁と車内販売のコーヒータイム。新幹線のホットコーヒーは最近特に旨くなっている。聞くとところによると、1ヶ月に10万杯売れるらしい。

2011年に独自ブランド「アロマエクスプレスカフェ」を立ち上げて開発を本格化し、既に20回以上のリニューアルを繰り返してきたという。出来立ての熱いコーヒーを提供するため、車内でコーヒーマシーンを使って淹れてくれるのだ。いつも1杯330円のレギュラーサイズを頼んでいるが、たまにはラージも頼んでみようか。

関ヶ原周辺は積雪のため徐行運転となり、10分程度到着が遅くなった。

火曜日(8日)に京都で立ち寄った書店で購入した2冊のうち、1冊は昨年買った文庫本だった。昨年は正月に年間100冊を読むと公言して、結果的に106冊を読了した。今年は目標を立てていないが、昨年からのペースが続いて1月だけで既に9冊を読み終えている。同じ本を購入するなどは昔から比較的好くあることなので、それほど驚かないが、知った時にはいつも落胆する。

最近はコロナ禍だけに、友人や知人らと会う機会が無くなっていたが、今回は大阪や京都で短時間会うことができた。コロナの濃厚接触者になったなどという経験談を聞く。陽性者より濃厚接触者の方が大変らしい。地球全体が大きな影響を受けているが、それでも古都ではあちこちで外側が黄色で内側が濃い紫の蠟梅が、季節の変化を魅せてくれる。色や香りはモチベーションをアップさせる重要な要素でもある。

大阪では今年3回目になる一日講演会。企画担当者も濃厚接触者になって、しばらく在宅勤務だったらしい。講演後に大阪から京都に戻り、木曜日に顧客企業を訪問。夜に東京へ戻る。関東は大雪情報だったので、交通機関のストップを心配したがニュースで聞いているほどではなかった。

北京五輪は観戦する時間がなかったが、祭日に、スノーボード男子ハーフパイプ決勝戦とスノーボード混合団体(男女2人のスピードレース)の準決勝と決勝戦を観戦する。二刀流の平野歩夢君の大逆転金メダルは、スポーツというより芸術品である。芸術家(職人)だからこそ決勝2回目のルーティンに対して試合後に語っていた「ジャッジの判断基準」は重い言葉と言える。彼も大谷選手らに代表されるZ世代の一人である。

蠟梅の香り 地球を癒すなり⑥

